

- ▶ 森林の持つ水源のかん養機能や土砂災害防止機能など森林の持つ公益的機能は、SDG s やカーボンニュートラルの実現に向け関心が高まっていることから、森林機能の重要性について、普及啓発する必要がある。
- ▶ そのためには、市民それぞれが森林に関心を持ち木に触れ合う機会を設けることや幼児期から木育を推進することが、森林への理解や木材利用の重要性について家族ぐるみで理解が進む。
- ▶ このようなことから、木のおもちゃを1歳半健診時に配布し、幼児期から木との関わりや木に関する愛着心を醸成する。

□ 事業内容

1 木のおもちゃ製作

- ・ 幼児が木に触れ合い、木の香りや木の温かみを感じられる木のおもちゃを製作するため、市内の木工加工業者に製作を公募し、1種類のおもちゃ（数字パズル）を製作した。

【事業費】3,150千円（うち譲与税3,150千円）

【数量】850セット

2 木のおもちゃ配布

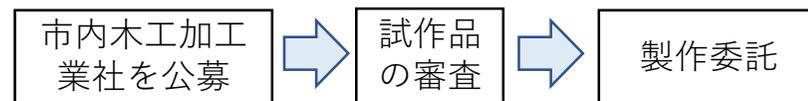
- ・ 乳児の検診を担当する課室とおやこ保健福祉課と連携・協力し、1歳半健診時に木のおもちゃを配布。



（製作した木のおもちゃ）

□ 事業スキーム

1 木のおもちゃ製作



2 木のおもちゃ配布



□ 工夫・留意した点

- ・ おやこ保健福祉課と連携し、ケガや誤飲する恐れのない、木のぬくもりが感じられるおもちゃであることに重点を置き、試作品を審査し、前年度の2点に加え、おもちゃ1点を選定し製作を委託した。

◇ 基礎データ

①令和4年度譲与額	150,100千円
②私有林人工林面積（※1）	20,395ha
③林野率（※2）	84.7%
④人口（※3）	118,394人
⑤林業就業者数（※4）	378人

※1、2：「2020農林業センサス」より、※3：「R2国勢調査」より

※4：「R2国勢調査」より